



## Bear Safety at Brooks Camp



ようこそカトマイ国立公園、ブルックスキャンプへ。カトマイは世界有数のヒグマの密集地域を保護しています。ヒグマが季節的にブルックスキャンプに集中するため、ブルックスキャンプ滞在中、特別な規則に従う必要があります。ブルックスキャンプに到着した際、クマに関するオリエンテーションを受けなければなりません。ここに書かれている内容はオリエンテーションの補足であり、オリエンテーションの代わりにはなりません。ブルックスキャンプでの素晴らしい体験とあなたの安全を守るため、一人一人の協力が必要です。

### Safety 安全について

常にクマとの距離を少なくとも50ヤード(48m)保ってください。あらゆる大型哺乳動物の50ヤード(48m)以内に近づくことや食品を用いてクマを50ヤード(48m)以内に引き付けることは禁止されています。ブルックスキャンプはクマに優先権が与えられているユニークな場所です。カトマイでは、私たちが50ヤード(48m)以上の距離を保っていれば、クマが私たちに興味や抵抗を示すことはほとんどありません。

旅行中、クマを驚かせることは極力避け、音を立ててあなたの存在をクマに伝えて下さい。最適な方法は、グループでまとまって話しながら行動することです。クマにあなたの存在を伝えることは、とりわけ視界が遮られる場所で重要になります。しかし、クマを怖がらせるために音を立てるのではなく、あくまでもあなたの存在をクマに伝えるために音を立てることを覚えておいて下さい。クマがあなたを人間として認識したあとに大きな音を出すことは彼らを動揺させてしまいます。決してクマから

逃げないでください。クマと突然遭遇してしまったときは、落ち着いた声でクマに話しかけ、クマが落ち着くまで(寝たり、移動したり、食べる等)後ろへ下がって下さい。子供は小さいため、クマが子供を人間と認識できない場合があります。お子様は常にご両親による指導、監督が必要です。また、自由に走り回らないように注意して下さい。パークレンジャーはあなたを案内、監督します。クマが橋の50ヤード付近に長時間滞在し、突然の移動等を警戒し橋を閉鎖する場合など、野生動物との距離を50ヤード保つという規則を例外に、レンジャーがあなたに指示を与えることがあります。

ブルックス川を渡る浮橋では安全にクマを観察することはできません。クマが橋や橋に続く道の50ヤード(48m)以内に現れた場合、橋は一時的に閉鎖されます。橋を渡るときは、目的地にたどり着けないことや、安全のため最悪の状況を未然に防ぐためにもできる限り早く橋を渡して下さい。

## Food 食料について

ブルックスキャンプでのユニークな体験のためには、食料を貯蔵、管理することが重要です。これはクマが人間を食べ物と結びつけないようにするために必要なことです。いかなる動物にも決してえさを与えないでください。

クマが人間と食べ物を結びつけて覚えるような状況を避けるために、すべての食料はビジターセンターやキャンプグラウンド、ブルックス湖ピクニックエリアに設置されている食料貯蔵庫に保管されなければなりません。飲食は建物内かピクニックエリアで行って

ください。ピクニックエリア以外では、食べ物(ガムや鉛を含む)や飲み物(水以外)を持ってはいけません。ごみはすべて建物内のごみ箱に捨ててください。

ブルックスキャンプ外を旅行する際は、パークレンジャーに食料の保管に関する規則についてお尋ねください。適切に食料の貯蔵、管理することはカトマイのクマの周りで安全に体験するために最も重要なことです。

## Equipment 持ち物について

クマは好奇心が強い生き物なため放置された持ち物を調べたり、壊したり、しまいには人間の物をおもちゃと結びつけてしまうかもしれません。この放置された宝物を得ることで、クマが人や建物に興味を持ち近づききっかけになりかねません。

衣服やかばん、その他の持ち物をいかなる時も放置しないでください。すぐに手の届く場所以外、地面には何も置かないで下さい。余分な衣服や持ち物は建物内に保管して下さい。キャンプグラウンドやブルックス湖ピクニックエリアに設置されている道具保管庫に余分な持ち物などを保管して下さい。

## Fishing 釣りについて

ブルックス川で釣りをすることはとても刺激的な体験ですが、同時に責任を持って楽しんでください。決してクマがあなたから魚を得るような状況を作らないで下さい。そのため、常にクマに注意して下さい。クマが50ヤード(48m)以内に近づいてきたら速やかに釣りを止め、釣り糸を引き上げて下さい。釣りをする際は、常にクマが近付くことを考えていつでも糸を切れるように準備して下さい。

かつて、クマが人間と魚を結びつけて覚えてしまったことがあります。このような事態が起こった場合、釣りの禁止や人間の安全を脅かしかねません。そして、最終的にはクマの命にもかかわります。釣りをすることを考えている方は、釣りに関する規則を知り、従う責任があります。ビジターセンターに寄り、最新の規則に目を通しておいて下さい。

## Viewing Platforms プラットフォームでのクマ観察 について

3ヶ所に設置されているプラットフォーム(高台)でのみ安全にクマを近距離で観察することができます。これらのプラットフォームは私たちに素晴らしいクマの観察機会を与えてくれますが、動物たちを驚かせるような影響を最小限に抑えなければなりません。そのため、いくつかのエチケットを守る必要があります。

プラットフォームでは極力大声を出すことは避け、またクマに大きな歓声を送ることは避けて下さい。クマの中には大勢の人がプラットフォーム上にいる場合、プラットフォームの周辺や川沿いで食べ物を食べることを避けるものもあります。また、カメラのフラッシュもクマを困惑させる一因になります。そのため、写真を撮る際は、カメラのフラッシュ機能を切ってください。プラットフォームの手すりに何も置かないでください。例え何かプラットフォームの下に落としてしまっても拾うことはできません。また、プラットフォーム上でたばこを吸うことはできません。クマが気兼ねなくプラットフォームに続く歩道橋の下を歩けるように歩道橋の上では立ち止まらず、歩き続けて下さい。

ブルックス滝のプラットフォームではスペースが限られているため、最大40人という人数制限があります。プラットフォームが満員で他の方がブルックス滝でクマを見るために待っている場合、プラットフォームでの滞在が1時間経過すると他の方のために場所を譲るようレンジャーから声をかけられるでしょう。プラットフォームが混雑している場合は、レンジャーの持つリストに名前を書いて下さい。プラットフォームに空きができるレンジャーから声をかけられ、プラットフォームに行くことができます。

プラットフォームが混雑してきたら、お互いを尊重しあい、場所を譲り合って下さい。できるだけ多くの方が楽しめるように大型カメラやその他の道具で多くの空間を独占しないようにして下さい。また、リフォルと下流プラットフォームには時間制限や人数制限は設けられていません。2つのプラットフォームはより多くの方がブルックス滝のようにクマの観察を楽しんでいただけるよう設置されています。